

# 家庭医の子育て体験が患者中心医療の 実践に与える影響 — 質的研究

Parenting Experience and Patient-Centered Practice among Japanese Family Doctors : A Qualitative Study

〇〇・〇〇医療学講座 〇〇〇〇 (博士課程4年)



## Take Home Message

子育ては「キャリアの障害」ではなく、  
「より深い患者中心医療」を目指すうえでの  
貴重なステップである。

## 背景

子育ては医師の離職要因となる一方で、家庭医療における患者理解を深める機会となる可能性がある。

本研究は、子育てをしている家庭医へのインタビューを通じ、子育てによる患者中心医療への影響を質的に分析した。

子育てというライフイベントが診療に与えるポジティブな側面を明らかにし、家庭医療の実践や教育に生かす視点を提示する。

## 方法



### 質的研究

半構造化インタビュー  
言語分析によるカテゴライズ



N=8

### 対象

東北地方で10歳以下の子が  
いる家庭医療専門医 8名



### 調査期間

2022年7月 – 2022年9月

## 結果

インタビュー結果を6つのカテゴリーに分類し、子育てが患者中心医療に及ぼす影響をモデル化した。



医師の視点

### 1. 相手の経験を探る

相手に合わせた言葉づかいや態度の工夫  
解釈には個別の時間が必要  
それぞれに異なる個性や価値観がある  
言語化できないことへの意味付け  
辛抱強く相手の意図を汲もうとする姿勢

### 2. 体験を通じた苦しみへの理解

患者や家族の苦しみの理解  
経歴に関する苦しみの理解

### 3. 対象の課題に対する協働

対象の主体性を意識した支援  
共通性が影響する対象との関係の深まり  
相互的な信頼の強化  
対象への共感の強化

### 4. 生活や人間関係の認識強化

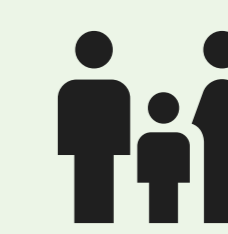
養育を通じた生活世界の理解  
子育てを通じた家族関係への意識  
社会資源の具体的な認識  
家族は時間をかけて作られることへの理解

### 5. 自己認識

自己と関わりの深い存在との出会い  
子供との関わりを通じた人生の振り返り  
自己の言動を俯瞰してとらえる

### 6. 対象の省察への参加

あるべき医師像へのこだわりの変化  
対象への自己開示



親の視点

## 考察

子育てを通じて医師の視点と親の視点を融合し、家庭医療のより深い患者理解につながっていた。

研究の詳細、コメントはこちらの  
QRからアクセスしてください！

